

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	20014
課題名	副陰囊・副陰唇 (Accessory Labioscrotal Fold) の発生・病態について
研究期間	西暦 2020年 5月 20日 ~ 2021年 3月 31日
研究の対象	1983年1月1日~2019年12月31日に当院で会陰部腫瘍を指摘されて手術を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細：年齢、性別、診断名、病歴、治療内容、検査結果、画像診断結果、手術記録、病理検査結果) <input type="checkbox"/> 試料：手術で採取した組織 (対象臓器等名：)
研究の意義、目的	小児の会陰部にできるできものの鑑別診断として仙尾部奇形腫 (せんびぶきけいしゅ)、血管腫 (けっかんしゅ)、脂肪腫 (しぼうしゅ) などが挙げられますが、副陰囊・副陰唇 (Accessory Labioscrotal Fold (ALSF)) は、非常に稀であるとされています。しかし十分に意識して観察しないと ALSF の診断に至らない患者さんがおられると考えられ、その発生および病態を後方視的に検討することにより、将来は早期に正確な診断から迅速で適切な治療を行うことができるよう、啓蒙していくことを目的としています。
研究の方法	1983年1月1日から2021年3月31日までの期間で、小児期に会陰脂肪腫の手術を受け副陰囊・副陰唇 (Accessory Labioscrotal Fold) と病理診断された患者さんについて、主にカルテを用いた診療情報・画像情報を検討します。
その他	本研究の実施に際しては特に資金を必要としません。 本研究は企業や団体とのかかわりは無く開示すべき利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 旭川医科大学 外科学講座 血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 電話 0166-68-2494 FAX 0166-68-2499</p> <p>研究責任者： 旭川医科大学外科学講座 血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科 講師 (学内) 宮城 久之</p>